ミイシ周辺（２－２－１）根絶エリア（３０ｍ×５０ｍの範囲）

このエリアは自生植物の多いエリアで根絶を目標にしたエリアです。
ニッコウキスゲ、ノハナショウブ、キリンソウ、カワラナデシコ、フナバラソウ、ウツボグサ、ミヤコグサ、ショロソウ、アオヤギソウ、アオモリアザミ、ツルフジバカマ、クサフジ、カワラマツバ、シラヤマギク等が自生。

抜き取り経緯

抜き取り本数及び抜き取り日

・平成１５年　５，８０７本　（7月８日　３，４０２本　１０月３日　２，４０５本）
※ 平成１６年から２３年まで駆除作業は行われていない放置状態。
・平成２３年　９，２６０本　（6月２３日　３，１７５本　9月２日　３，６７５本　１０月１４日　２，４１０本）
・平成２４年　３，２７７本　（5月２１日　８３１本　9月４日　１，７９０本　１０月　３日　３６１本　１０月２４日　２９５本）
・平成２５年　５７７本　（7月　２日　７７本　9月９日　１４４本　１０月２３日　１８６本）
・平成２６年　３本　（8月２６日　３本）
・平成２７年　１７本　（6月１１日　１７本・8月　６日　０本）
・平成２８年　１１本　（6月１４日　１１本・8月１８日　０本）
・平成２９年　０本　（6月１３日　０本・8月２２日　０本）根絶
※ 平成２３年度から平成２９年度までの駆除作業写真を添付。
※ 平成１５年は雇用対策事業１４名で駆除作業を行う。
※ 平成２３．２４．２５年雇用対策事業１２名５月から１０月まで（９０日間）駆除作業を行う。
※ 平成２６年度から八戸市文化財課の予算で花を咲かせない、種を落とさない駆除作業（６名・１０日間）を毎年行っています。
※ 平成２３年度は花を咲かせない、種を落とさない事に徹底し、２４年度からは埋土種子からの発芽したら、出たら抜き、出たら抜き、埋土種子がなくなるまで徹底的に抜き取る。
※ 平成２９年度までに抜き取った総計１８，９５２本、。
※ 見落としがない様に一列に並んで抜き取り作業を行った事、繁殖エリアが狭い事、意外と埋土種子が少なかった事、徹底的に抜き取った事が根絶に導いたと思われる。

ミイシ周辺（２－２－１）平成２２年８月撮影

ミイシ周辺（２－２－１）平成２２年８月撮影

オオハンゴンソウ確認地カルテ				整理番号	２－２－１
場　所	ミイシ周辺（２）			確認日	Ｈ２３．６．２４
緯度経度	北緯４０度・東経１４１度	所有・管理者	私有地	地種区分	第２種特別地域
標　高	２０ｍ	駆除株数	３，１７５本	重要性	☆☆☆☆

位置図

経緯	・平成９年には既に繁殖が確認していたので、それ以前から繁殖していたと思われる。 ・平成１５年に一度、雇用対策事業で２－２－１は３，４０２本抜取り作業を行った実績があり、それ以外は毎年、鮫観光協会で秋に草刈りを行っていた事と、少人数のボランティアが毎年駆除作業を行っているお陰で、どうにか現状維持が保たれている。このエリアは線路側から種子が飛散し、繁殖した所で、海側の崖や道路側の崖にも繁殖が広がっている。 ・ミイシ一帯は貴重な自生植物のエリアで、ミチノクヤマタバコやキキョウ、ニッコウキスゲ、ノハナショウブ、ツリガネニンジン、キリンソウ、アオヤギソウ、シュロソウ、ウメバチソウ、ミソハギ、フクジュソウ、カワラナデシコ、エゾフウロ、フナバラソウ、ハマギク等多くの植物が自生しているので、繁殖エリアを守るべく、オオハンゴンソウを根絶しなければならない。
生育状況	・高さ５０ｃｍ前後に生長したものがほとんどで、種子から発芽した小さなオオハンゴンソウもあった。
駆除状況	・６月２４日、雨の中、１５名で３時間ほどで３，１７５本抜取った。 ・キリンソウやキンミズヒキ、オオダイコンソウ、ツリガネニンジンなどの根元に生えていたので慎重に抜取り作業を行った。 ・刈払いしている所なので、残った根株から発芽して生長したオオハンゴンソウも多く見られた。
コメント	・抜取り時期が少し早かったので、取り残したオオハンゴンソウや、これから埋蔵種子が発芽してくると思われるので１０月までにもう一度駆除作業を行う予定。

製作者	石　津　正　廣	作成日	平成２３年８月３１日

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業直前の状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除直前の状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業

ミイシ周辺（２－２－１）自生植物に注意しながらの駆除作業

ミイシ周辺（２－２－１）１０ｃｍ前後のオオハンゴンソウ

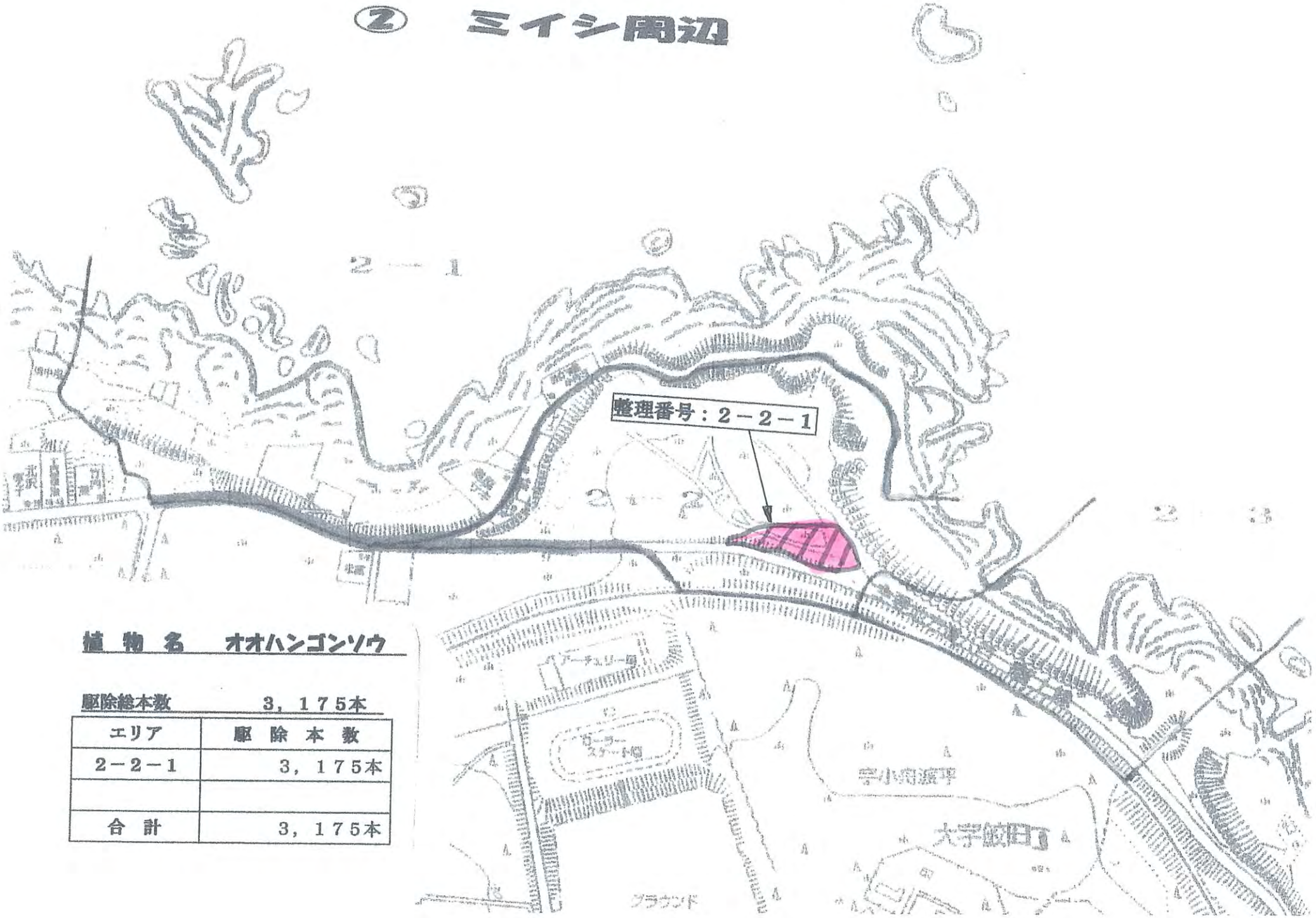
根株が残って発芽したオオハンゴンソウが多く見られた

高さ５０ｃｍ前後のオオハンゴンソウ

３，１７５本抜取ったオオハンゴンソウ

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業後の状況

② ミイシ周辺



植物名　オオハンゴンソウ

駆除総本数　3，175本

エリア	駆除本数
2－2－1	3，175本
合計	3，175本

オオハンゴンソウ確認地カルテ				整理番号	２－２－１
場　所	ミイシ周辺（２）「２回目」			確認日	Ｈ２３．９．５
緯度経度	北緯４０度・東経１４１度	所有・管理者	私有地	地種区分	第２種特別地域
標　高	２０ｍ	駆除株数	３，６７５本	重要性	☆☆☆☆

位置図

経緯	・６月２４日、１回目の駆除作業で３，１７５本抜取った。 ・約３ヶ月後に２回目の駆除作業を行った。１．２回の駆除合計が６，８５０本なので駆除ランクをＣからＢに格上げした。 ・
生育状況	・種子から発芽した小さなオオハンゴンソウや、種子から発芽して３０ｃｍ前後生長したオオハンゴンソウ、取り残した根株から発芽して生長した、オオハンゴンソウなどが多く見られた。
駆除状況	・９月２日に３，６７５本抜き取った。(合計６，８５０本) ・種子から発芽した小さなオオハンゴンソウは取りきれなかった。 ・駆除後自生植物がほぼ花が終わっていたので、草刈り機で刈払いし、更に発芽してくるオオハンゴンソウを抜き取り易くする為の作業を行った。
コメント	・埋蔵種子がどの位残っているのか、１０月までに更にもう一度駆除作業を行う予定。 ・生長具合や発芽状況から、根絶可能エリアである。来年度発芽状況を確認したい。

製作者	石　津　正　廣	作成日	平成２３年１０月６日

ミイシ周辺（２－２－１）駆除前の繁殖状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除前の繁殖状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除前の繁殖状況

種子から発芽して生長したオオハンゴンソウ

取り残した根株から発芽したオオハンゴンソウ

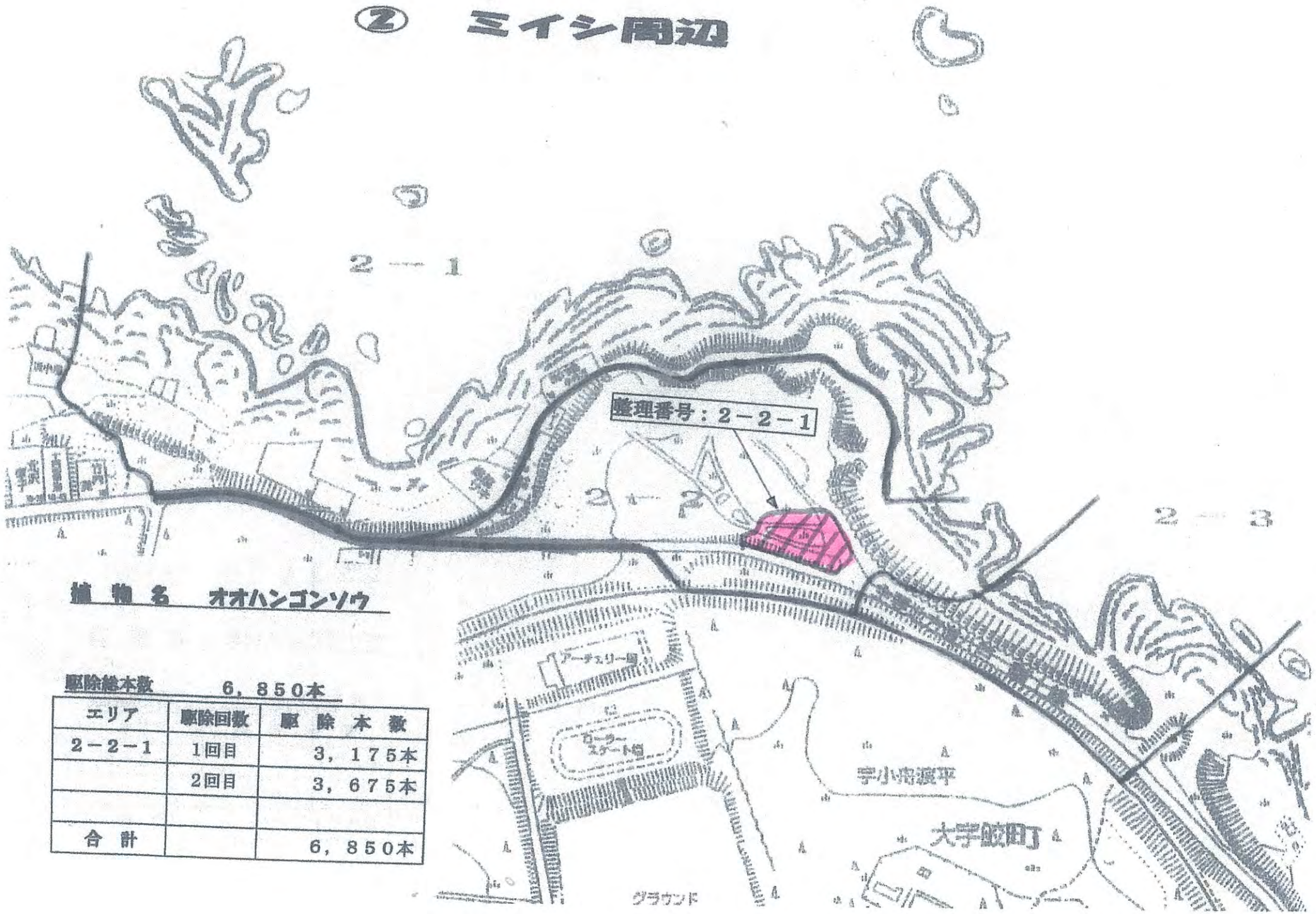
抜き取ったオオハンゴンソウ・ほとんど３０ｃｍ前後に生長していた

ミイシ周辺（２－２－１）２回目の駆除作業時の状況

ミイシ周辺（２－２－１）２回目の駆除時はオオハンゴンソウより他の植物の背丈が大きい

ミイシ周辺（２－２－１）抜き取り後、刈払いし３回目の駆除作業の準備をする

② ミイシ周辺



植物名　オオハンゴンソウ

駆除総本数　6，850本

エリア	駆除回数	駆除本数
2－2－1	1回目	3，175本
	2回目	3，675本
合計		6，850本

オオハンゴンソウ確認地カルテ				整理番号	２－２－１
場　所	ミイシ周辺（２）　「３回目」			確認日	Ｈ２３．１０．１４
緯度経度	北緯４０度・東経１４１度	所有・管理者	私有地	地種区分	第２種特別地域
標　高	２０ｍ	駆除株数	２，４１０本	重要性	☆☆☆☆

位置図

経緯	・６月２４日、１回目の駆除作業で３，１７５本抜取った。 ・９月　２日、２回目の駆除作業で３，６７５本抜き取った。（合計６，８５０本） ・このエリア（２－２－１）も根絶を目標に駆除作業を進めてきたので、１０月１４日に３回目の駆除作業を行った。
生育状況	・種子から発芽した小さなオオハンゴンソウや、取り残した根株から発芽したオオハンゴンソウがほとんどで、小さいながらも根株が有り、この冬枯れても、来年発芽すると思われるオオハンゴンソウが多々あった。
駆除状況	・１０月１４日、３回目の駆除作業で２，４１０本抜き取った。（３回の合計９，２６０本） ・１０ｃｍ前後のオオハンゴンソウは目に付くので抜き取ったが、種子から発芽したばかりの小さなオオハンゴンソウは若干取り残したと思われる。 ・３回の駆除作業で、確実に埋蔵種子が減少しているのが実感できる。
コメント	・埋蔵種子がどの程度残っているのか次年度に状況を確認したい。 ・根絶可能エリアである。

製作者	石　津　正　廣	作成日	平成２３年１０月２２日

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業前の状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業前の状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業の状況

取り残した根株から発芽したオオハンゴンソウ

取り残した根株から発芽したオオハンゴンソウ

取り残した根株から発芽したオオハンゴンソウ

種子から発芽したオオハンゴンソウ

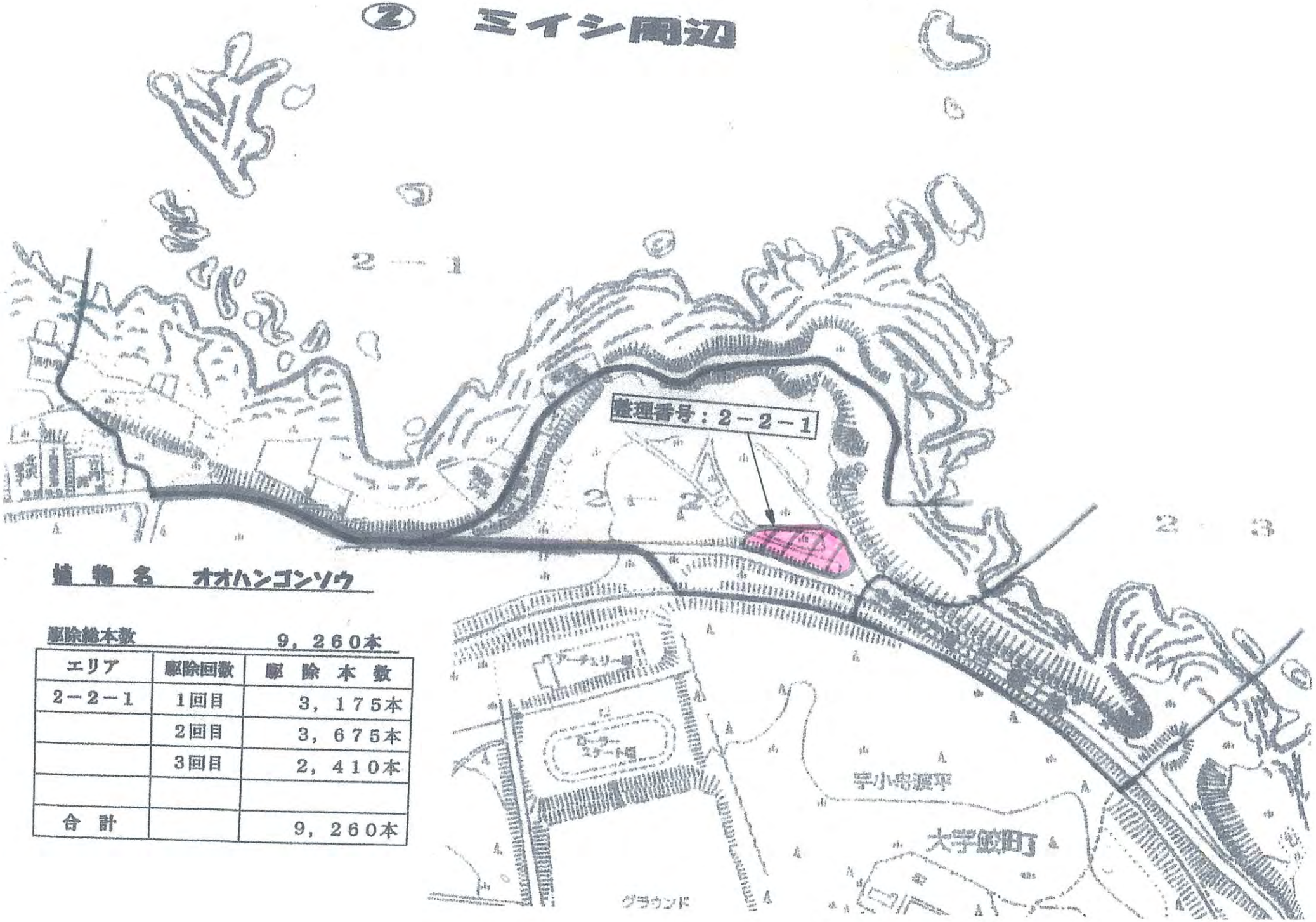
殆どが１０ｃｍ前後のオオハンゴンソウ

抜き取ったオオハンゴンソウを数えている

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業後の状況

ミイシ周辺（２－２－１）駆除作業後の状況

② ミイシ周辺



植物名　オオハンゴンソウ

駆除総本数　9，260本

エリア	駆除回数	駆除本数
2－2－1	1回目	3，175本
	2回目	3，675本
	3回目	2，410本
合計		9，260本